

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（ALPS 処理水の海洋放出関連設備の設置等）に係る面談
2. 日時：令和4年4月4日（月）15時30分～17時30分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

技術基盤グループ

シビアアクシデント部門

新添主任技術研究調査官

放射線・廃棄物研究部門

荻野技術計画専門職

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、大辻室長補佐、

新井安全審査官、小西係長、久川係員、杉浦技術参与

高木係長、松田専門職、横山係長

（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 担当1名

福島第一原子力発電所 担当1名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、令和3年12月21日付けで提出のあった実施計画の変更認可申請（ALPS 処理水の海洋放出関連設備の設置等）に関して、「多核種除去設備等処理水（ALPS 処理水）の海洋放出に係る放射線影響評価報告書（設計段階）」の改訂方針について、説明があった。
- 原子力規制庁は、上記説明を受け、評価の前提条件となるソースタームの設定や潜在被ばく評価に用いるシナリオの設定については、不確かさへの考え方と併せて早急に示すよう求めた。

6. 資料：なし